

つくばみらい市の幼児教育のあり方について
報告書

令和2年3月

つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会

— 目次 —

1	概要	
	1. 検討の目的	1
2	現状と経過	
	1. 現状における課題	2
	2. これまでの取り組み	3
	3. 本市公立幼稚園の現状と仮移転先の概要	5
3	幼稚園に関するアンケート調査	
	1. 公立幼稚園保護者アンケート	9
	2. 幼児教育のあり方検討委員アンケート	15
	3. 私立幼稚園アンケート	18
4	今後の幼児教育のあり方に関する意見の分野別整理	
	1. 幼児減少への対応	23
	2. 施設の老朽化への対応	24
	3. 支援が必要な子への対応	24

— 資料 —

- 資料1) 小学校区別利用施設別人数
- 資料2) アンケート要望欄全集

— 付録 —

- 付録1) つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会設置要綱
- 付録2) つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会委員名簿
- 付録3) つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会開催経過

1 概要

1. 検討の目的

国の子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の成立に伴う幼児教育・保育の無償化の実施（令和元年 10 月）や、本市における幼児教育施設の老朽化等を鑑み、今後の幼児教育のあり方を再考することが急務となっている。

本検討委員会は、つくばみらい市における幼児教育の今後のあり方に関することや、公立幼稚園の役割に関することについて、広く意見を聴き必要な事項を検討し、幼児教育の推進に資することを目的とする。

2 現状と経過

1. 現状における課題

① 少子化による園児の減少

つくばみらい市「まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」によると、平成 26 年度に市が独自に行った人口推計では、2020 年頃まで人口は増加すると見込まれているが、その後は減少傾向に向かうと予測しているとともに、少子化により園児が減少する見込みである。

② 共働き世帯の増加による保育ニーズの高まり

社会全体で共働き世帯が増加しており、幼稚園ではなく、保育施設を求める保護者や、教育時間後の預かり保育の利用を希望する保護者が多くなっている。

③ 公立幼稚園の入園希望者の減少

幼児教育・保育の無償化によって、保育料が無料となった。これまで、わかくさ幼稚園と谷和原幼稚園は入園希望者が定員を上回っていたため、抽選会を実施していたが、来年度については 3 園全てで定員を下回っている。

④ 既存の幼稚園園舎の老朽化・耐震不足

わかくさ幼稚園とすみれ幼稚園については、園舎の老朽化及び耐震不足により、現状のまま継続して利用していくことが困難である。

この判断理由は、耐震補強工事や改修工事に伴う仮設園舎の設置が必要となるほか、多くの費用と工事の長期化が見込まれるためである。

2. これまでの取り組み

市教育委員会では、平成29年に、「つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会」（以下、「再整備検討委員会」という）を設置し、その中で、安全な幼稚園施設の整備と子育て環境の改善を推進するため、わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園の存続や統合も含めた公立幼稚園のあり方について検討を行った。

平成30年に、再整備検討委員会より提言を受け、平成31年には、わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園の耐震補強工事や改修工事の検討した結果、工事に伴う仮設園舎の設置が必要となるほか、多くの費用と工事の長期化が見込まれることから、現在の園舎への耐震補強工事および改修工事の実施は困難であると判断した。園児の安全を第一に考え、令和2年4月1日の小学校の統合による跡地利用として、わかくさ幼稚園を現在の三島小学校の跡地へ、すみれ幼稚園を現在の東小学校へ暫定的に移転することを決定した。

<検討経緯の流れ>

平成29年 つくばみらい市立わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園再整備検討委員会の設置

(目的) 安全な幼稚園施設の整備と子育て環境の改善を推進するため
(内容) わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園の存続や統合も含めた公立幼稚園のあり方の検討

平成30年 再整備検討委員会の提言

① 緊急性の観点から

園児の安全を第一に考え、わかくさ幼稚園、すみれ幼稚園における耐震補強工事の実施が急務であり、併せて施設の老朽化に伴う修繕工事を行うことが、最も妥当な方向性である。

② 中長期的な観点から

子どもたちが親の就業の有無にかかわらず、等しく質の高い教育を受けることができる教育環境が求められている。一方では、つくばエクスプレスの開業後、子育て世代の転入により、児童・生徒・園児数ともに増加傾向が続いているが、後にピークを迎え減少することが予測されていることから、子どもの状況を的確に把握し、子育て世代が求める教育環境を実現することが重要である。また、幼児期から義務教育を通じて一貫した指導・支援体制の確立を図るためにも、義務教育施設の適正配置と一体的な計画づくりが必要である。さらに、近年、公立幼稚園や保育所を認定こども園に移行している自治体が見受けられる。中長期的な方向性として、認定こども園を含めた公立幼稚園の運営方法を検討すべきである。

平成31年	わかくさ幼稚園及びすみれ幼稚園の耐震補強工事及び改修工事の実施方法を検討
令和2年4月	谷井田・三島小学校及び板橋・東小学校が統合予定
令和2年5月	三島小学校及び東小学校校舎の改修工事予定
令和2年9月	小学校の統合による跡地利用として、公立幼稚園2園を小学校跡地へ暫定的に移転し、開園予定

<空き校舎を移転先に選定した理由>

① 安全性（＝耐震性能の確保）

- ・ 耐震診断を実施し、耐震補強工事・大規模改修工事を実施済みである
(H26 東小, H27 三島小)

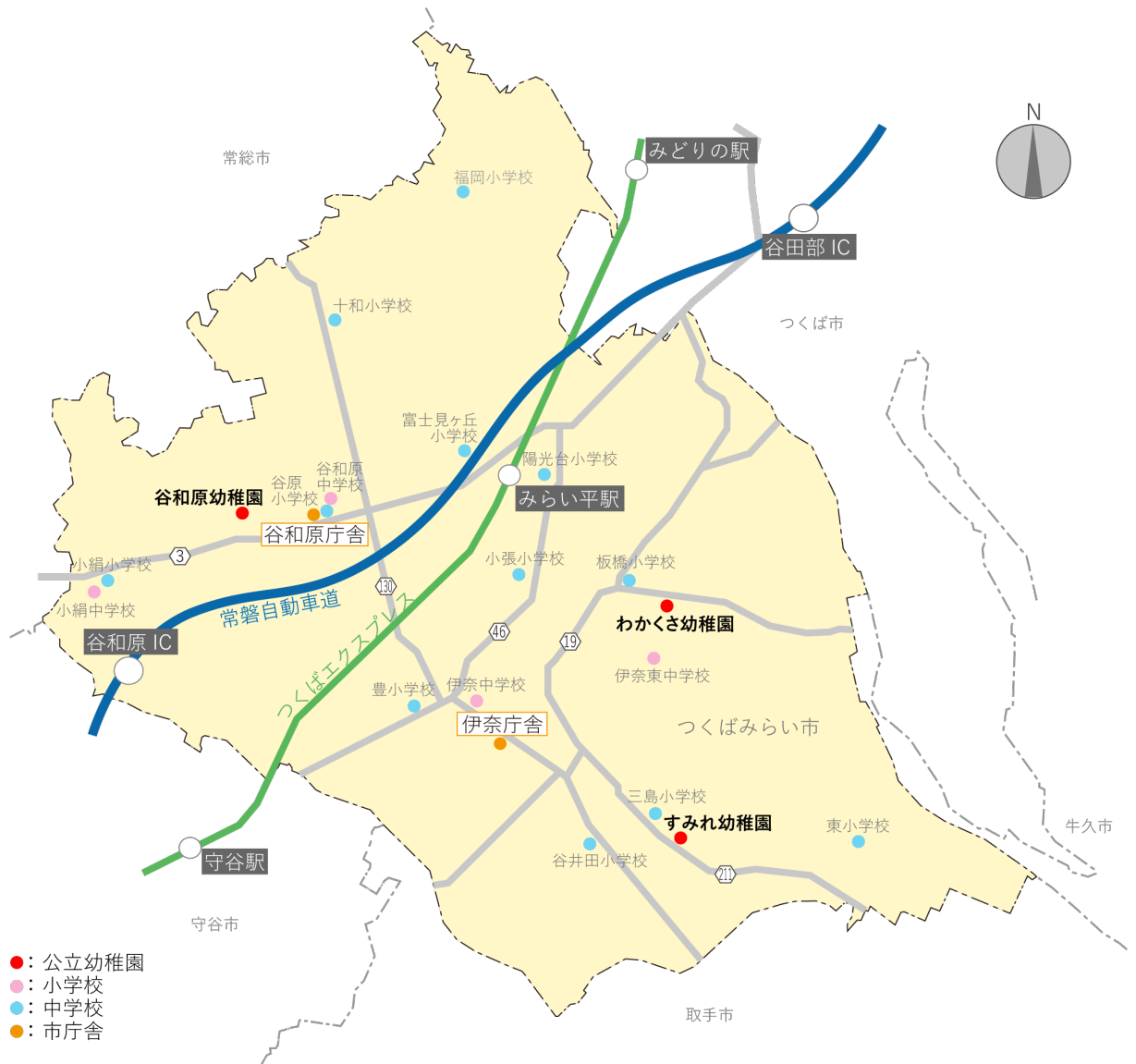
② 共通性・活用性（＝ハード面、機能面からみた転用しやすさ）

- ・ 小学校空き校舎を幼稚園に転用する際のメリットとして、必要な教室数を確保できるほか、現在使用している職員室、保健室、図書室、体育館はそのまま、幼稚園の移転後も同じように使用することが可能である
- ・ 小学校と幼稚園の建築基準法上は、同基準である

3. 本市公立幼稚園の現状と仮移転先の概要

市内には、わかくさ幼稚園、すみれ幼稚園、谷和原幼稚園の3園がある。また、暫定的な移転先である小学校は、令和2年4月1日を以て、現在の谷井田小学校と三島小学校、板橋小学校と東小学校が統合することが決定している。

移転先はそれぞれ、わかくさ幼稚園は三島小学校、すみれ幼稚園は東小学校となっている。



— 位置図 —

(1) 公立幼稚園の現状

① わかくさ幼稚園（所在地：つくばみらい市板橋 3023-1）

通園区 小張小学校区，板橋小学校区，東小学校区の一部，三島小学校区の一部，
陽光台小学校区

施設

	管理教室棟	普通教室棟
構造	木造平屋建て	木造平屋建て
延床面積	658 m ²	302 m ²
建設年	昭和 26 年	昭和 35 年
築年数	築 68 年	築 59 年

教室数 年少 3，年中 3，年長 3，職員室，ランチルーム等

園児数（11/1 現在）

	R2 新入 園児	年少	年中	年長	在園児 合計
定員数	60	60	90	90	240
園児数	49	56	65	81	202
クラス数	3	3	3	3	9

② すみれ幼稚園（所在地：つくばみらい市下島 592）

通園区 谷井田小学校区，豊小学校区，東小学校区の一部，三島小学校区の一部

施設

構造	鉄骨造平屋建て
延床面積	1,077 m ²
建設年	昭和 55 年
築年数	築 39 年

教室数 年少 2，年中 2，年長 2，職員室，遊戯室等

園児数（11/1 現在）

	R2 新入 園児	年少	年中	年長	在園児 合計
定員数	40	40	60	60	160
園児数	25	22	30	26	78
クラス数	2	2	2	1	5

③ 谷和原幼稚園（所在地：つくばみらい市上小目 600）

通園区 谷原小学校区，十和小学校区，福岡小学校区，小絹小学校区，
富士見ヶ丘小学校区

施設

構造	鉄骨造平屋建て
延床面積	1,063 m ²
建設年	平成 23 年
築年数	築 8 年

教室数 年少 3，年中 2，年長 2，職員室，遊戯室等

園児数（11/1 現在）

	R2 新入 園児	年少	年中	年長	在園児 合計
定員数	60	60	60	60	180
園児数	46	59	60	58	177
クラス数	3	3	2	2	7

備考 谷和原第 2 保育所と併設

(2) 仮移転先の概要

① 三島小学校（所在地：つくばみらい市下島 422 番地）

施設

構造	鉄筋コンクリート造 3 階建て
延床面積	2,388 m ²
建設年	昭和 54 年
築年数	築 40 年

教室数 普通教室数 9, 特別教室数 6, 職員室, 保健室, 図書室, 体育館

備考 平成 27 年 耐震補強工事・大規模改修工事実施済み

② 東小学校（所在地：つくばみらい市足高 1313 番地）

施設

構造	鉄筋コンクリート造 3 階建て
延床面積	1,758 m ²
建設年	昭和 56 年
築年数	築 38 年

教室数 普通教室数 6, 特別教室数 5, 職員室, 保健室, 図書室, 体育館

備考 平成 26 年 耐震補強工事・大規模改修工事実施済み

3 幼稚園に関するアンケート調査

1. 公立幼稚園保護者アンケート

(1) 調査の目的

公立幼稚園にお子さまを通わせている保護者及び来年度入園予定の保護者から、公立幼稚園に関する意見を聞き、今後、公立幼稚園の役割等の検討資料とするためのアンケートを実施した。

(2) 調査の対象・回収状況

市内の公立幼稚園3園（わかくさ幼稚園・すみれ幼稚園・谷和原幼稚園）の保護者を対象とした。

対 象	配布数	回答数	回答率
わかくさ幼稚園	252	98	38.9%
新入園児	48	20	41.7%
年少	58	19	32.8%
年中	66	28	42.4%
年長	80	31	38.8%
すみれ幼稚園	108	26	24.1%
新入園児	25	4	16.0%
年少	23	5	21.7%
年中	30	10	33.3%
年長	30	7	23.3%
谷和原幼稚園	226	107	47.3%
新入園児	46	14	30.4%
年少	60	33	55.0%
年中	60	33	55.0%
年長	60	29	48.3%
合計	586	231	39.4%

(3) 調査の期間

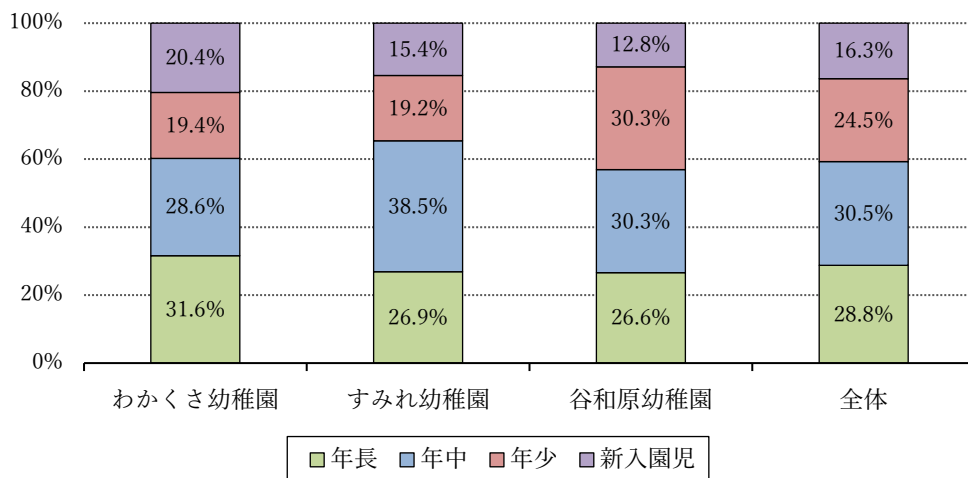
令和元年11月10日から令和元年11月25日

(4) 集計結果

① 回答者に関する設問

お子さまが通っている園、または通う予定の園はどこですか。

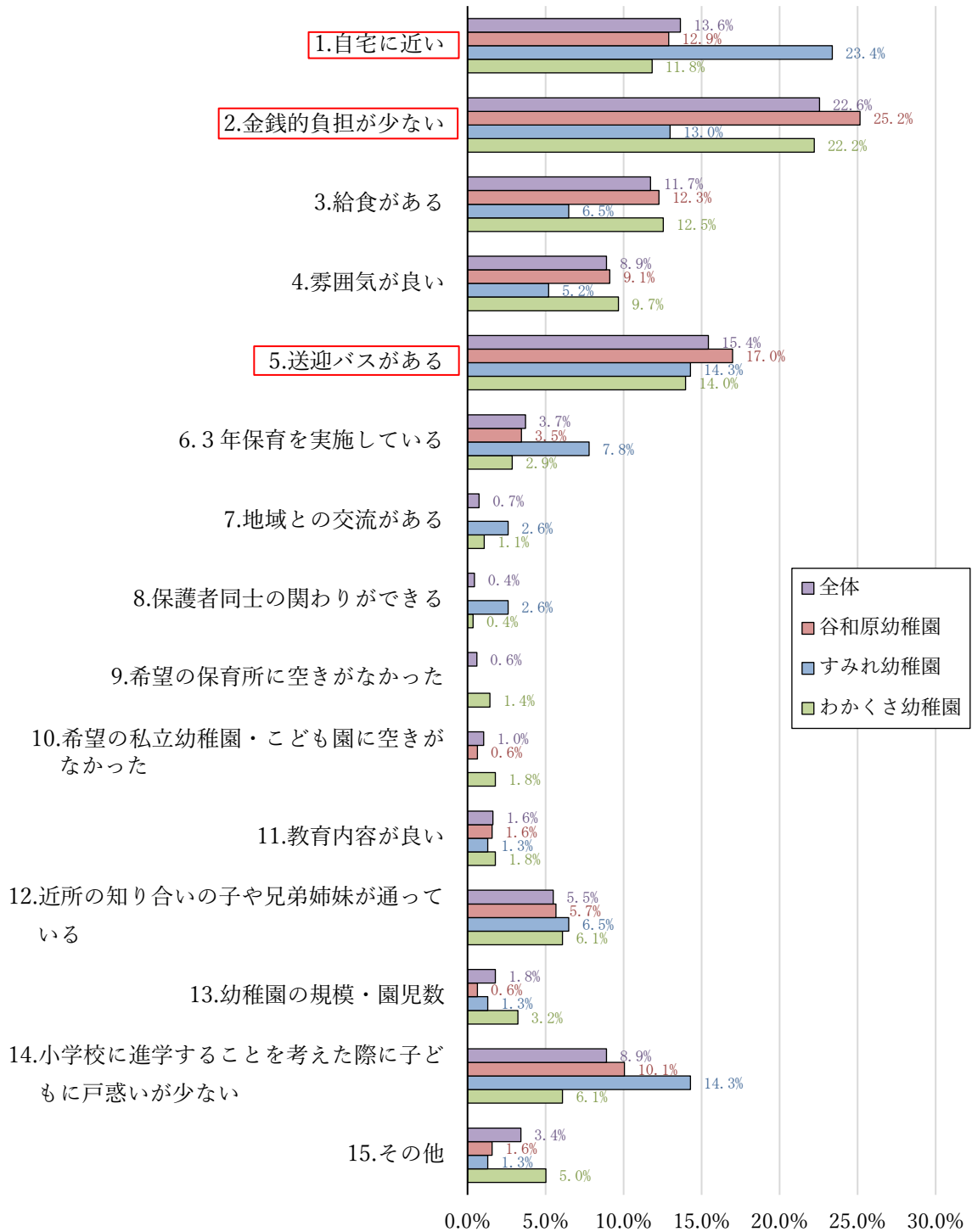
お子さまの年代について教えてください。



② 公立幼稚園を選んだ理由

公立幼稚園を選んだ理由について、3つ選んでください。

- 全体でみると「2.金銭的負担が少ない」が22.6%でもっとも多く、次いで「5.送迎バスがある」が15.4%、「1.自宅に近い」が13.6%という結果になった。
- 幼稚園ごとにみると、「2.金銭的負担が少ない」がわかくさ幼稚園22.2%、谷和原幼稚園25.2%で最上位となり、すみれ幼稚園では「1.自宅に近い」が23.4%でもっとも多くの回答があった。



○ その他の回答では、保護者の出身や園庭及び周辺環境に関する内容等が多くみられた。

その他の回答

● わかくさ幼稚園

- ・ 私自身が通っていて、子供を通わせたいと思ったからです。
- ・ 学区内の谷和原幼稚園に空きがなかった為
- ・ 敷地・グラウンドの広さが十分に広く、グラウンド周りの木々、木陰が窮屈になっていない。公立だからこそその環境。
- ・ 緑豊かな園庭
- ・ 市立だから
- ・ 新しいものが多いこの地域であえて昭和感が残る場所で経験してほしかった。古きもののよさ、自分も幼なかつた時の古い時代の物に触れて記憶に残っているので大切なと感じた。
- ・ 園庭の広さと自然とともに子どもたちがのびのび育つと思ひ選んだ。自宅からも近く通いやすく、小学校のことも考え知り合いも多かった。
- ・ 園庭が気に入ったから
- ・ 公立だから
- ・ 園庭が広く遊び中心の保育だから
- ・ 自分が通っていた幼稚園に子どもも通わせかけた。
- ・ 自然豊かな園庭が気に入ったから（のびのびと外で遊べる）
- ・ 抽選になると聞いたので落ちたら他を考えようと思っていた。早めに幼稚園を決めておきたかったので特に理由はないです。

● すみれ幼稚園

- ・ 自身が卒園児だから。

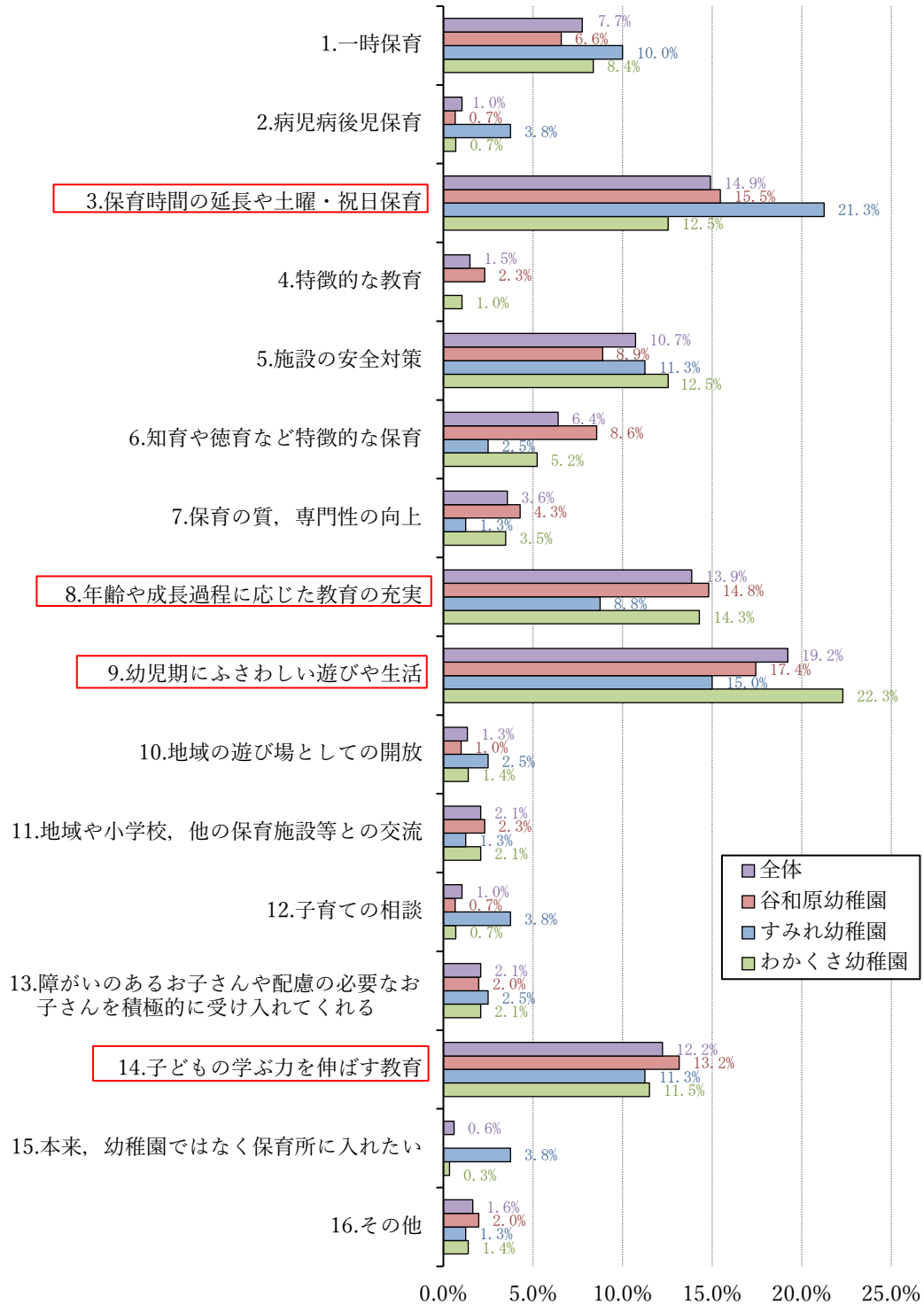
● 谷和原幼稚園

- ・ 広い園庭、緑に囲まれたゆったりとした雰囲気。災害時にすぐ迎えにいける安心な場所にある。私立幼稚園が遠いから。
- ・ わかくさ幼稚園に兄弟が通っており、公立幼稚園ならではの色々な子どもたちがいる大らかさと先生方の温かい雰囲気を重視した。
- ・ 園庭がひろくのびのびと活動し様々な経験を自然の中で得られると思ったから
- ・ キレイだったから（エアコンがあるのも理由）

③ 幼稚園に求めるもの

幼稚園に求めるものについて、3つ選んでください。

- 全体では「9.幼児期にふさわしい遊びや生活」が19.2%で最上位となり、各幼稚園別にみても15.0%以上の回答があった。
- 次いで「3.保育時間の延長や土曜・祝日保育」や「8.年齢や成長過程に応じた教育の充実」、
「14.子どもの学ぶ力を伸ばす教育」が多く回答があった。



- その他の回答では、既存施設の肯定的側面やイベント、社会ニーズに応じた教育を求める回答がみられた。

その他の回答

● わかくさ幼稚園

- ・ 保育料の無償化に伴い、保育時間の延長をしてほしい
- ・ 夏まつりなどのイベントの実施
- ・ 公立幼稚園の良さを残しつつ、時代に沿った保育をしてほしい
- ・ 現在のわかくさ幼稚園の自然とともにのびのびと遊び学び、教育、現在の幼稚園の雰囲気にとっても満足している。小学校との交流、勉強、生活の指導などしていただけてとても感謝しています。子供もとても楽しそうです。
- ・ 特になし、今のままでも十分です。

● すみれ幼稚園

- ・ スポーツや英語など習い事がそのまま園でやってもらえるなど

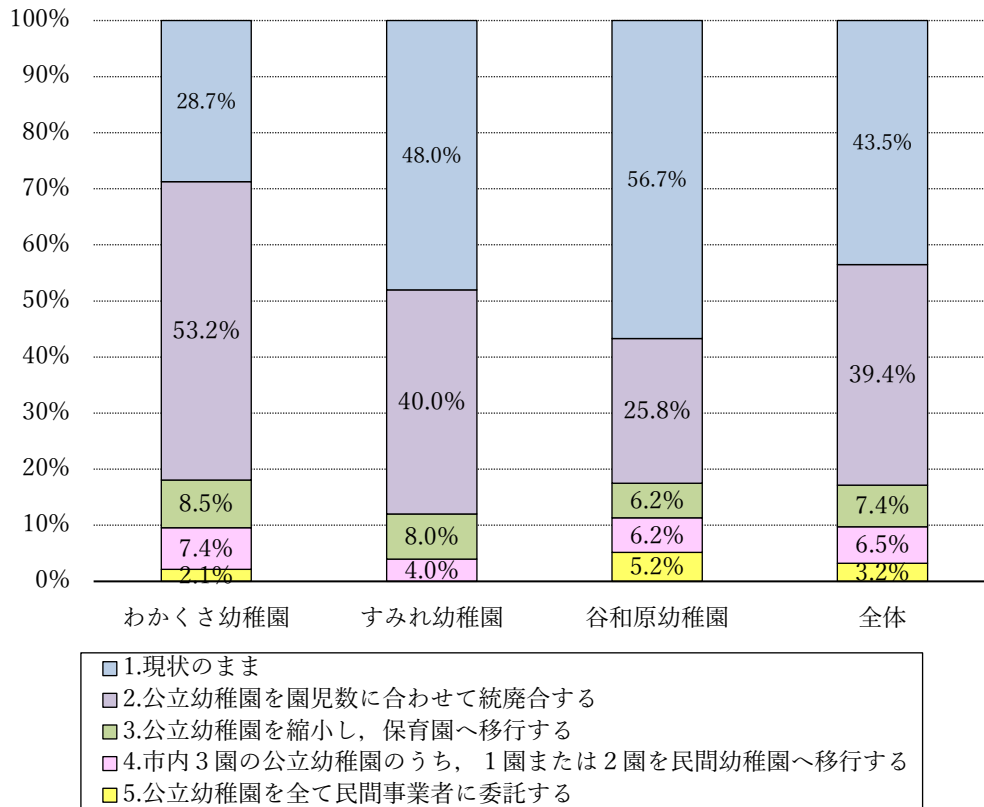
● 谷和原幼稚園

- ・ 前向きな主体性と協調性を伸ばすことができ、キャパシティーのあるよい先生のいる園
- ・ 集団生活の中で友だちや先生との関わりや遊びを通して、社会性や人間関係を学んでほしい。
- ・ 夏期保育やお泊まり保育。
- ・ 事故が起きない、怠慢がない、日々のルーティンワークをこなすのではなく、常に先のことに目を向けることを求める。
- ・ 子どもが楽しく過ごせる事
- ・ 保育園みたいに子供にあった給食にして欲しい

④ 今後の公立幼稚園について

将来、園児数が減少する上で、公立幼稚園は今後どうあるべきだと思いますか。

- わかくさ幼稚園では「2.公立幼稚園を園児数に合わせて統廃合する」が53.2%で最上位となり、すみれ幼稚園及び谷和原幼稚園では「1.現状のまま」がそれぞれ5割程度ともしっかり回答があった。
- 公立幼稚園を継続する「1.現状のまま」及び「2.公立幼稚園を園児数に合わせて統廃合する」が全ての幼稚園で8割以上の回答があった。



2. 幼児教育のあり方検討委員アンケート

公立幼稚園が選ばれる理由について、考えられることを3つ選んでください。

項目	あり方検討委員	
1 自宅に近い	16.7%	5
2 金銭的負担が少ない	30.0%	9
3 給食がある	10.0%	3
4 雰囲気が良い	3.3%	1
5 送迎バスがある	6.7%	2
6 3年保育を実施している	3.3%	1
7 地域との交流がある	3.3%	1
8 保護者同士の関わりができる	0.0%	0
9 希望の保育所に空きがなかった	0.0%	0
10 希望の私立幼稚園・こども園に空きがなかった	6.7%	2
11 教育内容が良い	0.0%	0
12 近所の知り合いの子や兄弟姉妹が通っている	10.0%	3
13 幼稚園の規模・園児数	0.0%	0
14 小学校に進学することを考えた際に子どもに戸惑いが少ない	10.0%	3
15 その他	0.0%	0
計		30

幼稚園に求めるものについて、考えられることを3つ選んでください。

項目	あり方検討委員	
1 一時保育	13.3%	4
2 病児病後児保育	3.3%	1
3 保育時間の延長や土曜・祝日保育	20.0%	6
4 特徴的な教育	0.0%	0
5 施設の安全対策	6.7%	2
6 知育や徳育など特徴的な保育	3.3%	1
7 保育の質、専門性の向上	6.7%	2
8 年齢や成長過程に応じた教育の充実	10.0%	3
9 幼児期にふさわしい遊びや生活	13.3%	4
10 地域の遊び場としての開放	3.3%	1
11 地域や小学校、他の保育施設等との交流	10.0%	3
12 子育ての相談	3.3%	1
13 障がいのあるお子さんや配慮の必要なお子さんを積極的に受け入れてくれる	3.3%	1
14 子どもの学ぶ力を伸ばす教育	3.3%	1
15 本来、幼稚園ではなく保育所に入れたい	0.0%	0
16 その他	0.0%	0
計		30

将来、園児数が減少する上で、公立幼稚園は今後どうあるべきだと思いますか。

項目	あり方検討委員	
1 現状のまま	10.0%	1
2 公立幼稚園を園児数に合わせて統廃合する	50.0%	5
3 公立幼稚園を縮小し、保育園へ移行する	20.0%	2
4 市内3園の公立幼稚園のうち、1園または2園を民間幼稚園へ移行する	10.0%	1
5 公立幼稚園を全て民間事業者に委託する	10.0%	1
計		10

その他、ご意見

1	公立幼稚園の必要性とは何か。幼児教育、保育の無償化がスタートし私立幼稚園を希望する人が増えているように思える。公立幼稚園の利点が思いつかない。
2	運動会の午前だけの開催は凄く良かったと言う声を多く聞かれたので、これからも提案したいです。一時保育や保育の延長、土日祝日の保育、専門的な講師の指導（スポーツや芸術など）向上。地域の方との交流（遊び方や工作などの触れ合い）がこれからの公立幼稚園に望ましいと思います。
3	わかき幼稚園が三島小に、すみれ幼稚園が東小に移転することが決定し、春には幼児に合わせた改修がされる。しかし、4～5年という暫定的な移転のもとでは中途半端な改修になってしまうのではないかと心配。早々に今後の公立幼稚園のあり方を判断し、移転に伴う改修についても費用対効果を高められるように検討してほしい。具体的には、三島小を恒久的に公立幼稚園として使用することを前提にしっかりと改善する、新しい園舎を建てるため必要最低限の改修にとどめるなど
4	公立園の存在意義をつくばみらい市として、どう考えるかによって統廃合又は民間委託など方向性がみえてくるのではないのでしょうか。3歳以上児の保育料無償化により、県内幼稚園入園希望数は大きな変化が出ている市町村もあるようです。どのような運営形態で園児数減少に対応していくのか難しいですが重要な課題と感じます。
5	問2で、8・9・13に丸をつけましたが、8・9に関しては今、現在も充実しているのかもしれないですね。王道をいってほしいです。13の障がいのある子については近来とても増えていて、障がいとまではいなくても発達遅れについて心配したり気づきながら認められずにいたり、逆にちょっとしたつまづきを大げさに捉えすぎ、子どもを責めてしまったり、悲観的になりすぎたり、子どもはもちろん親の救済も必要だと思います。公立こそ積極的に受け入れ、インクルーシブ保育を（保育でも幼稚園でも）行ってほしいと思います。その上で市の療育とタイアップし子どもの成長を助けるべきだと思います。3年保育はあたりまえ、満3歳時保育、預かり保育、一時保育、病児保育等、統合や民間委託の前に工夫出来る点は多くあると思います。

6	園によって、保護者の考えや思いが違う。また表面に出る、出ないなど地域差もあると思う。表に出てきた声だけに対応するのではなく、全体を見てバランスの良い検討をしていきたい。
7	地域の方々にとって、問1に回答させていただいた理由とともに経済的な面も考慮すると公立幼稚園の存在は大きいと思っています。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の待遇改善（給与面での） ・職員の幼小間での交流・幼小の接続を配慮した保育内容の充実 ・認定こども園への移行が社会の趨勢であるが、つくばみらい市ならではの幼稚園を目指す（つくばみらい市の子は責任を持って市が育てるそんな子育て支援がいいですね）
9	現状の少子化問題や共働き家庭が多く、長時間預かってくれる保育園を希望する家庭が今後、増えてくると思う。保育園のスタイルに幼稚園が近づけば自然と幼稚園の需要が増えると思う。働く母に合わせた対応なども
10	個人的な意見ですが以前、保育の様子をみた時に（上の子の時に園を見学させていただきました）子どもの自由度が少しすくないのかな？という印象をうけました。各ご家庭で園に対する思いは違うと思うのですが、私は園を選ぶ際に子どもが一番楽しそうに遊んでいる姿・顔をしていた園にしました。又、周りのママからは保育時間がもう少し長いといいという意見がありました。

3. 私立幼稚園アンケート

市内私立幼稚園（認定こども園含む。）と、つくばみらい市の教育利用（1号認定）の園児が通っている近隣市町村の私立幼稚園13園に対しアンケートを実施し、11園から回答が得られた。

(1) 園の特徴

問1 貴園の教育・保育の特色を教えてください。（自由記述）

【回答】（抜粋）

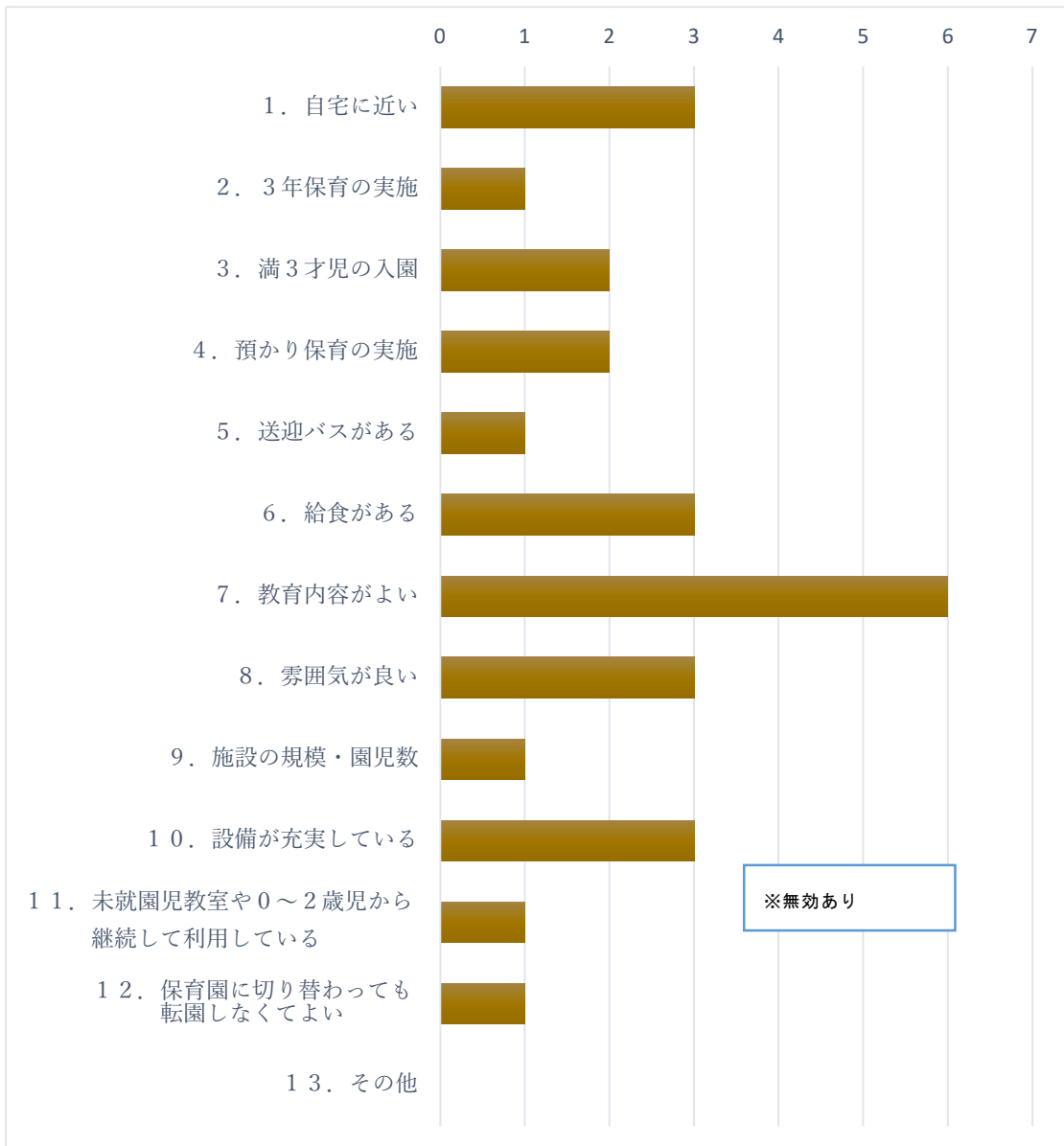
- ・（認定こども園）生後2ヶ月～就学前の子ども達を受け入れ、幼・保利用児の区別なく同クラスで保育を実施
- ・ 専門講師による年間を通じた指導（英語・水泳・体操・音楽・書道・作法など）
- ・ 自園調理の給食
- ・ 法人内の他の保育園・こども園との交流
- ・ 特定の分野に偏らない、のびのびした遊び
- ・ 年齢をまたいだクラス編成（縦割り保育）
- ・ 支援が必要な子も他の子と同じように生活（インクルーシブ保育）
- ・ 幼児期にふさわしい生活・遊び
- ・ こどもの主体性を尊重し、豊かな人間性、生活習慣の基礎を身につける
- ・ 豊かな人間性づくり、集団生活の中で協調性、思いやりの心、助け合う心、善悪の判断、社会性を養う
- ・ 「本物」を見て・触れて・知る実体験を通じ、感性豊かな心・たくましい身体を育む保育
- ・ 考える力、決める力、行動する力を育む活動
- ・ キリスト教精神をもとに個性を育み、共に生きることを喜ぶ子
- ・ 仏教的情操教育
- ・ 家族、地域ぐるみの交流事業の実施
- ・ 絵本づくり・劇づくり
- ・ おもちつき、芋掘り、動植物の世話

(2) 選ばれた理由

問2 貴園が選ばれる理由について、考えられることを3つ選んでください。

- 1. 自宅に近い 2. 3年保育の実施 3. 満3才児の入園
- 4. 預かり保育の実施 5. 送迎バスがある 6. 給食がある
- 7. 教育内容が良い 8. 雰囲気が良い 9. 施設の規模・園児数
- 10. 設備が充実している 11. 未就園児教室や0～2歳児から継続して利用している
- 12. 保育園に切り替わっても転園しなくてよい 13. その他

【回答】



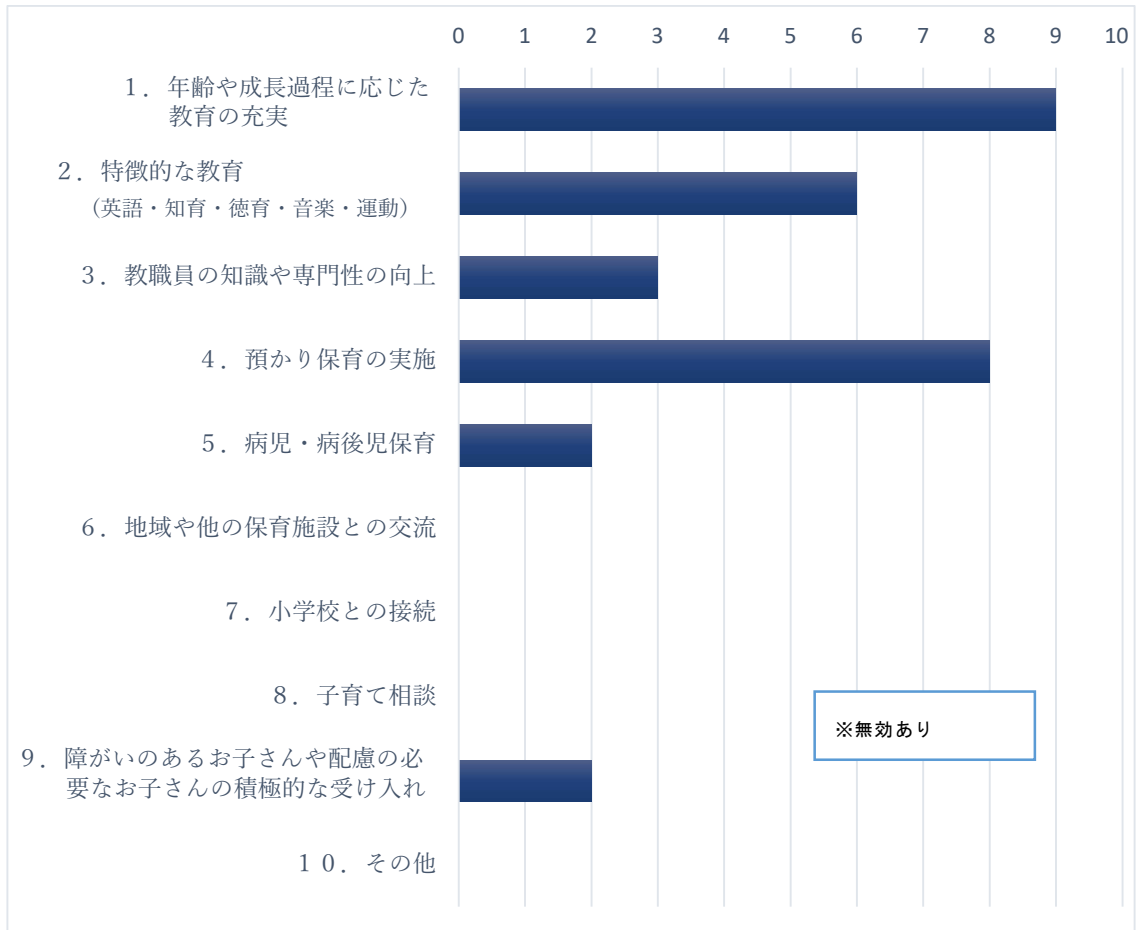
「教育内容が良い」が最も多く、次いで「自宅に近い」、「給食がある」、「雰囲気が良い」、「設備が充実している」が多い結果となった。

(3) 幼児教育に求められているもの＝公私問わず幼稚園保護者のニーズ

問3 幼児教育全般について、保護者が求めていると思われるものを3つ選んでください。

1. 年齢や成長過程に応じた教育の充実
2. 特徴的な教育（英語・知育・徳育・音楽・運動）
3. 教職員の知識や専門性の向上 4. 預かり保育の実施
5. 病児・病後児保育 6. 地域や他の保育施設との交流
7. 小学校との接続 8. 子育て相談
9. 障がいのあるお子さんや配慮の必要なお子さんの積極的な受け入れ
10. その他

【回答】



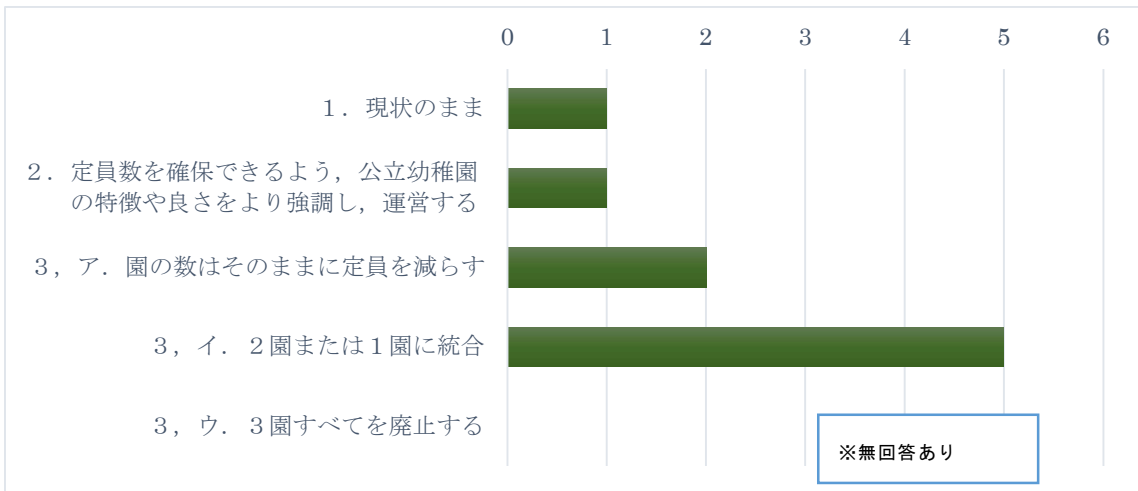
「年齢や成長過程に応じた教育の充実」が最も多く、次に「預かり保育の実施」、次に「特徴的な保育（英語・知育・徳育・音楽・運動）」となった。

(4) 公立幼稚園の規模

問4 本市の公立幼稚園の規模について、どうあるべきだと思われますか。
3を選ばれる場合は、ア～ウからひとつ選んでください。

1. 現状のまま
2. 定員数を確保できるよう、公立幼稚園の特徴や良さをより強調し、運営する
3. 民間施設を妨げないよう、規模を縮小する
 - ア. 園の数はそのままに定員を減らす
 - イ. 2園または1園に統合
 - ウ. 3園すべてを廃止する

【回答】



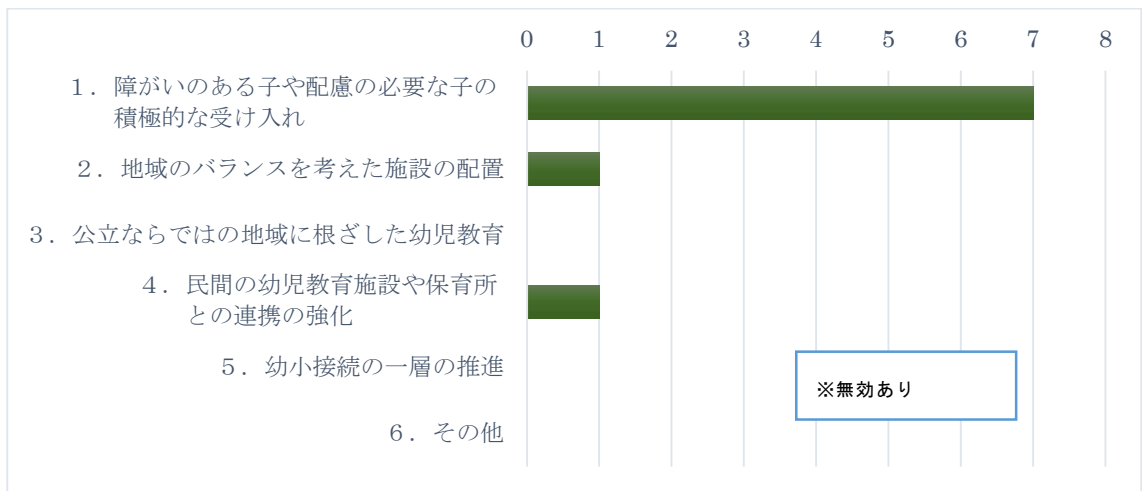
「3. 民間施設を妨げないよう、規模を縮小する」が最も多く、その中でも、「イ. 2園または1園に統合」が多い結果となった。

(5) 公立幼稚園の運営

問5 本市の公立幼稚園の運営等について、どうあるべきだと思われますか。
(ひとつ選んでください。)

1. 障害のある子や配慮の必要な子の積極的な受け入れ
2. 地域のバランスを考えた施設の配置
3. 公立ならではの地域に根ざした幼児教育
4. 民間の幼児教育施設や保育所との連携の強化
5. 幼小接続の一層の推進
6. その他

【回答】



「障がいのある子や配慮の必要な子の積極的な受け入れ」が最も多かった。

(6) 公立幼稚園が担うべき役割

問6 幼児教育を進めていくうえで、公立幼稚園が担うべき役割にはどのようなものがあると思いますか。(自由記述)

【回答】(抜粋)

- ・障がいのある子の受入は民間では難しいので、公立で受け入れてほしい 複数回答
- ・保育時間の延長、預かり保育 複数回答
- ・満3才児の受け入れ
- ・施設の立地場所の配慮
- ・先進の教育内容について、実践して成果があった取り組みについての情報発信
- ・私立・公立間の交流による教育の資質向上
- ・公私関係なく協力して市内の子供を預かるという姿勢
- ・幼稚園入園希望者が多いと感じているが、市外に出てしまっていて、小中学校は市内に行くのだから、市内に預けられる場所が必要だと思う。公立もそのひとつ
- ・公立ならではの地域に根ざした保育

4 今後の幼児教育のあり方に関する意見の分類別整理

本検討委員会では、幅広い視点や観点からつくばみらい市における幼児教育の今後の展望を抽出するために、保護者及び私立幼稚園のアンケートで表出した公立幼稚園に対するニーズや全体の幼児人口が減少していく見込みであること、無償化による私立幼稚園の人気増加等を踏まえて、委員からの意見を求めた。

以下に、本検討委員会で表出した所見を1～3の項目別に参考意見として整理する。

1. 幼児減少への対応

(1) 公立ならではの特色・イベントで選ばれる幼稚園

- 公立ならではのイベントを計画し、説明会などでアピールしないと集まらない。
- 取り組みがうまく伝わっていないため、情報の発信等をうまくやらないといけない。
- 選ばれる園であるためには、少し自宅から遠くてもこの園に通いたいという魅力が必要である。
- 定員割れの状況での運営は、民間・公立関係なく非常に厳しい。統廃合自体を悪く捉えず、より良い保育のために送迎バスがある等、できるところを充実させるべきである。
- 公立幼稚園の良さは、教育内容のバランスである。また幼稚園・小学校・中学校・保育園がつながって、子育て・教育を進めていけることも良さの一つである。

(2) 延長保育や預かり保育等の社会ニーズに応じた運用の必要性

- ニーズに応えながら、家庭時間の確保など、それぞれの園の大事にしている部分を打ち出した上で選ばれることが大事である。
- 働いているので、本当は保育所に入れたいけど入れないという潜在的な待機児童に対応できれば、選ばれるのではないか。
- 公立幼稚園で延長保育ができたらありがたい。
- 待機児童がある場所と待機児童がない場所との地域差が極端になっており、すべての子ども達に充実した保育を提供するためには、公立幼稚園の存在意義は有る。

(3) 公立幼稚園規模縮小により人材及び教育の質を確保

- 支援が必要な子の増加に比例して、教員人員の増加が見込まれるため、縮小して人材を確保することが必要である。
- 園児の確保を重視することで、教育の質が落ちてしまつては意味がないため、対応できる教員数に応じた幼稚園規模とすることが望ましい。
- 定員割れをしている地域に、民間学校法人が名乗りを上げるとは思えない。

2. 施設の老朽化への対応

(1) わかくさ幼稚園とすみれ幼稚園の2園を統合の可能性

- 定員割れをしているが、県内で上位の園児数を誇る公立幼稚園であるため、現状のまま住民のニーズに応えるべきである。しかし、現在同等が厳しいようであれば、わかくさ・すみれの2園を統合することについて、検討することが建設的ではないか。

(2) 暫定的な小学校跡地利用の経過で既存施設の利便性を検証

- 子どもたちのために第1に考え、5年間の暫定的な利用期間で、小学校跡地をベースに人の出入りや維持管理費・運営費の程度、保護者の意見を聞き、民間への移行や恒久的な利用を考えてもよいのではないか。

3. 支援が必要な子への対応

(1) 支援が必要な子へのサポートの充実

- 支援員等が幼稚園に1人いることで、障がいの有無が明確ではない子の保護者や支援が必要な子の増加に対応できるのではないか。
- 障がいの有無関係なく一緒に生活できる環境等、公立幼稚園に活かしてもらえると、支援が必要な子どもを持つお母さんも、安心して公立の幼稚園に通わせることができると思う。

(2) 公立幼稚園と私立幼稚園のバランスと連携

- 支援員等の専門的な知識をもつ人員を、公立・民間関係なく定期的に巡回させることで、人材不足を緩和させることができるのではないか。
- 私立と公立で支援が必要な子とそうでない子が、バランス良くいた方がお互いのためにもメリットが出てくる。

資料編

— 資料 —

- 資料1) 小学校区別利用施設別人数
- 資料2) アンケート要望欄全集

小学校区別利用施設別人数(令和元年11月1日現在)

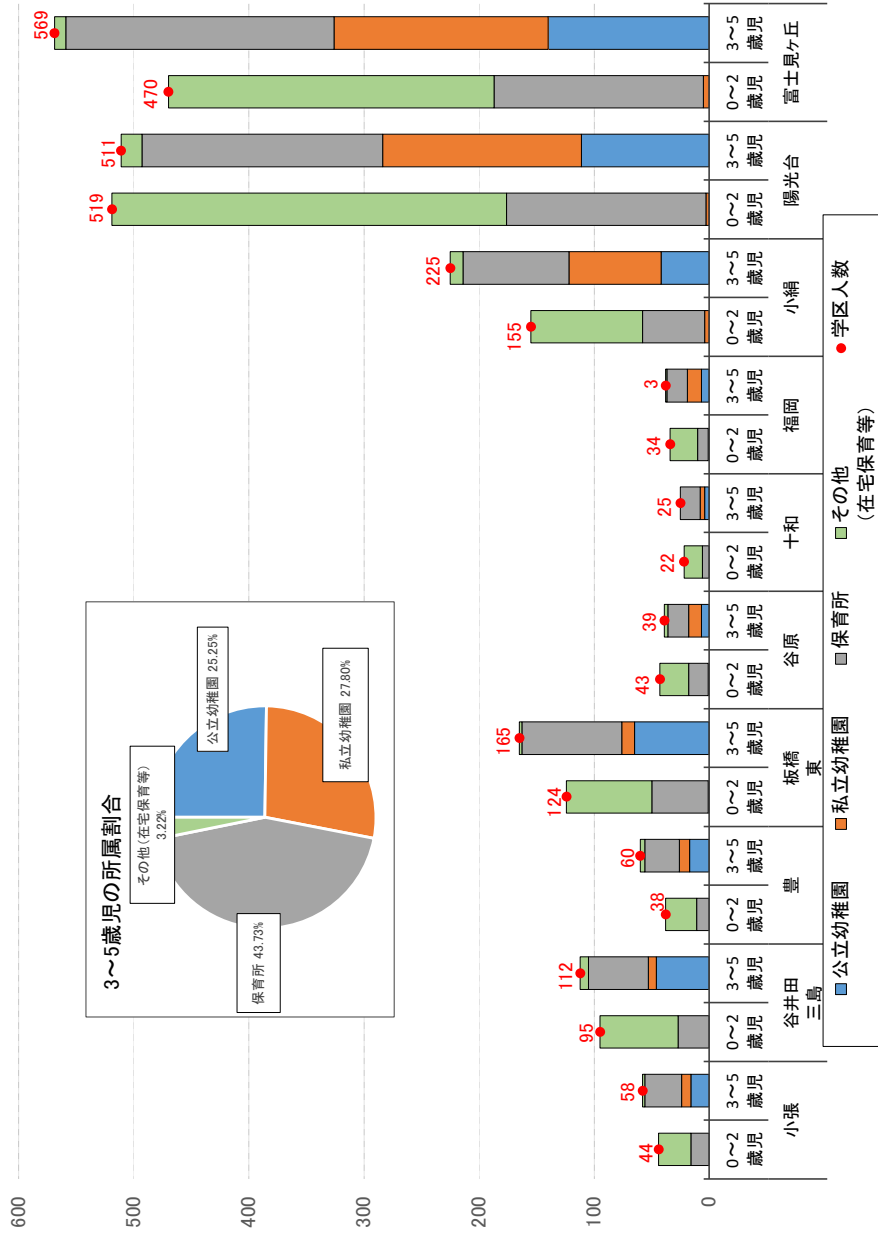
利用施設

小学校区	公立幼稚園		私立幼稚園		保育所 (在宅保育等)	その他 (在宅保育等)	学区人数
	園	園	園	園			
小張	0~2歳児	0	0	16	28	44	
	3~5歳児	16	8	32	2	58	
	計	16	8	48	30	102	
谷井田・三島	0~2歳児	0	0	27	68	95	
	3~5歳児	46	7	52	7	112	
	計	46	7	79	75	168	
豊	0~2歳児	0	0	11	27	38	
	3~5歳児	17	9	30	4	60	
	計	17	9	41	31	107	
板橋・東	0~2歳児	0	1	49	74	124	
	3~5歳児	65	11	87	2	165	
	計	65	12	136	76	259	
谷原	0~2歳児	0	1	17	25	43	
	3~5歳児	7	11	18	3	39	
	計	7	12	35	28	82	
十和	0~2歳児	0	0	6	16	22	
	3~5歳児	4	4	17	0	25	
	計	4	4	23	16	47	
福岡	0~2歳児	0	1	9	24	34	
	3~5歳児	7	12	18	1	38	
	計	7	13	27	25	72	
小絹	0~2歳児	0	4	54	97	155	
	3~5歳児	42	80	92	11	225	
	計	42	84	146	108	380	
陽光台	0~2歳児	0	3	173	343	519	
	3~5歳児	111	173	209	18	511	
	計	111	176	382	361	1030	
富士見ヶ丘	0~2歳児	0	5	182	283	470	
	3~5歳児	140	186	233	10	569	
	計	140	191	415	293	1030	
全体	0~2歳児	0	15	544	985	1544	
	3~5歳児	455	501	788	58	1802	
	計	455	516	1332	1043	3645	

※公立幼稚園には認定こども園幼稚園部、保育所には認定こども園保育園部を含みます。

※保育所待機児童数(R1.11末時点)

0才	1才	2才	3才	4才	5才	計
102	45	23	6	1	3	180



※公立幼稚園利用者の内訳

学区	小張	谷井田・三島	豊	板橋・東	谷原	十和	福岡	小絹	陽光台	富士見ヶ丘	計
0~2歳児	16	0	1	53	0	2	0	78	52	202	
3~5歳児	0	46	16	12	0	0	0	1	1	77	
計	16	46	17	65	7	4	7	42	111	140	

幼稚園の移転先の小学校について、施設に対するご要望やご意見など（ご要望欄）

項目	件数	主な内容
施設の安全対策に関すること	21	・2階利用への配慮 ・耐震性や災害時の安全性 ・園児にあわせた仕様、設備にしてほしい 等
施設の仕様・設備に関する こと(内部)	8	・階段の転落防止対策 ・水道やトイレを幼児用にしてほしい 等
施設の仕様・設備に関する こと(外部)	11	・園庭の充実 ・プールを利用したい 等
園児のケアに関すること	5	・園児の戸惑いへの対応 等
運営に関すること	11	・バスの送迎時間に伴う乗車時間の増加による子どもへの負担や園児の在園時間の縮小への懸念 ・図書の実用及び家庭への貸出 等
その他	12	・卒園制作で作成した壁画で記念撮影したい 等
計	68	

わかくさ幼稚園

1	親や子供の通っていた場所に幼稚園がないと寂しいので早く安心して通わせられる幼稚園を作って欲しいです。
2	移転先ではないのですが、わかくさ幼稚園の卒園制作で長女がプールに壁画を描きました。もし取り壊すのであれば、記念撮影などにか記録に残したいです。
3	階段を使用することなので、クッション性のあるマットやカーペットを敷いて万が一転落しても安全なようにして欲しい。トイレは毎日使うものなので、一時的な簡易工事ではなく、きちんと作り変えてほしい。不安がないようにしてください。
4	ちょっと遠いです、これから保育の延長をしていただきたいと思います。
5	外へ出られないように(特に2階窓含む)。水道やトイレなどを幼児用。防犯対策。幼児が安心する暖かみのある内装。床の材質。
6	設計期間が1年と聞いています。より良い施設を検討いただける事は嬉しく感じますが、陽光台小学校のように内容が伴わない施設とならないようにお願いしたいです。また建つまでの時間も長期になると伺っています。他の幼稚園の建て替え期間を知っていますが、今回ほどはかかっておりませんでした。子供が減っていく中で先々の検討はもちろんなんですけど今通っている、これから通う直近の子供のことも考えていただければと思います
7	行事の際に車が出入りしやすいようにして欲しい
8	安全面には十分配慮してほしいと思います。
9	緊急時、大雨や台風などの時の緊急対応マニュアルの作成、提示とにかく今後幼稚園をどうするかを半年、1年以内に決めて方向性を提示してほしい。整備検討委員会設置から3年で、暫定移転…3年あればその後どうするかも同時に話し合うべきだ。保護者のアンケートも大事だが、市が今後幼児教育に対してどのようにしていきたいか！を示して欲しい。
10	素足で過ごせるスペースがあると良いかも。職員の移動はなるべく無いように配慮を。新しい環境になるので子どもや保護者の不安を軽減して欲しい。
11	今の幼稚園よりも、遠くなるのでバス送迎は続けてほしいです。
12	遊具の充実と、わかくさ幼稚園らしい緑にあふれた園庭にして欲しいです
13	子供達の戸惑いが少ないようにして頂ければ嬉しいです。
14	施設に対してではないですが、新入園児は不安も大きい中入園しやっとなつてきた二学期から移転との事だったので、新入園児も戸惑うことが多くなると思うのでそのケアもしていただけると嬉しいです。
15	園庭の幼児遊具を安全面を考えたうえで充実させてほしい。

16	いつも大変お世話になっております。楽しい幼稚園生活を送らせていただき、いつも感謝しております。 要望として…できれば、移転したときに子供達がなんとなく寂しい気持ちや落ち着かない…など、あまりならないよう出来るだけ現在の幼稚園の雰囲気近づけて欲しいです。
17	遊具の充実の子供の運動能力向上に繋がるので、遊具は充実させて欲しい。絶対に上の階へ行けない、ベランダに出られない等の安全対策は特に注意して改修して頂きたい。
18	わかき幼稚園の緑豊かな園庭が親子共々大好きです。 移転先にて、これまで通りの園庭を100%再現して欲しいとは言いませんが、幾らかでも植樹などをして頂き、緑の多い自然豊かな園庭を希望します。
19	富士見ヶ丘地区から兄弟枠で4月から入園させる予定。バスがなくなるかもしれないと言われたが所在地が遠くなり、毎日保護者送迎は負担が大きすぎる。富士見ヶ丘地区の人が車で行くことができ、停車できる場所をわかき幼稚園学区内でいいのでバス停として市として必ず作ってください。安心して通わせたいです。
20	1階から2階の階段に幼児用の手すりをつけてくれるそうですが、やはり心配です。消防法の関係でいろいろ対策出来ないと言っておりましたが、手すりで見守りだけで大丈夫なのでしょうか…
21	園児達が過ごしやすい環境にして欲しい。
22	バスの時刻やルート、など子供のこと優先で色々考えてほしいです小学校を使用するという事で園児の安全をしっかりと確保した園生活を考えてほしいです
23	子供達が不安なく、安全に楽しくのびのびと生活できるような雰囲気や、環境である事を1番に願います。
24	年少年中とプールに入れる期間、回数が少なかったので移転先のプールでは夏休み中もプールを開放してほしい。 日にちや時間を決め、保護者が順番で監視員をする。 自分の子供が行く時は付き添いますが、それとは別で。
25	設備や遊具等、きちんと幼稚園仕様にして頂き、安全を確保してください。
26	先日の説明会では、移転先の小学校での設備等についてはまだ検討中とのことでしたが、きちんと検討内容をまとめた上で説明会を実施していただき良かったです。また、説明会の挨拶時に教育部長の方が「私もよくわかっていないんですよ」と笑いながらお話しされており、とても不快に思いました。よくわかっていない方が、移転先の施設設備など子ども達の安全についてきちんと考えることができるのかとても不安です。
27	<ul style="list-style-type: none"> ・前回説明会での不適切な回答等、教育課長の不適正任命の責任を説明していただきたい。 ・幼保一体の施設を拡充の検討をお願いしたい。 ・幼稚園と言う文科省管轄の施設なので教育をしっかりとっていただきたい。 ・風水害及び地震に対してどこまでの規模を想定してどの様なガイドラインのもとに行動するのか説明をお願いしたい。
28	施設の安全対策をしっかりとって欲しいです。
29	2階以上の建物と聞いただけでかなりの不安を感じます。特に年中、年長になる子たちは、1人で動けて予想外の行動をします。新しい園舎で事件や事故などが絶対に起こらないように設備・環境を整えてほしいと思います。先生方も新環境になり大変だと思いますが、保護者が安心して預けられるよう、まずは、新園舎での先生方の園児への対応を徹底してご指導いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

30	移転後もバス送迎時間が変わらないとのことですが、幼稚園での学ぶ時間が以前より減ることとなりますが、もう少し教育する時間を延ばす必要があるのではないかと思います。
31	2階, 3階があると思うので, 安全面の強化を強く希望します。
32	市発展の要ともなる幼児教育という意識をもって今後を見据え, 責任をもって実施してほしい。みらいの宝である子どもたちが楽しい幼稚園生活を送れるよう, 先生方にとっても苦労少なく, 園児と触れ合える設備, 環境であることを希望する。建替されたやわら幼稚園では, 各クラスにトイレが直結しており, 幼児や先生にとって利便性が高いように思う。また, 廊下以外のフリースペースも広くある。格差ないよう配慮が必要と思う
33	校庭の大きさや自然を活用した, 周りが羨む公立幼稚園にしてほしいと思います。設備耐久性の問題こそ有りますが, 公立という環境は子供の時からダイバーシティを植え付ける為にも不可欠と感じています。
34	施設自体よりも気になるのが, 今年の勢力強めの台風など自然災害があった際に移転予定の学校付近は冠水被害等の安全性はどうなのか知りたい。
35	図書室の充実, 積極的な利用をお願いしたい。小学校や市の図書館の様に, 自宅に借りて来られるとありがたい。
36	園児たちが安心安全で生活できるように, 耐震はもちろんだが設備のトイレや安全対策の柵など, 暫定的な期間だからといって簡易的なものではなくきちんとしたレベルのものを設置して欲しい。(すぐ破損したり劣化したら改修工事の意味がないので)移転前の現園舎も耐震の不安がある中での生活になるので, 移転までの間も定期的にひび割れや劣化などの状態を調査して把握して欲しい。
37	園児に合わせた安全対策をしっかりしてほしい。わかき幼稚園は広い園庭が魅力なので移転したとしても遊具がたくさんあり, 木々や草花などにもたくさん触れる機会を減らさないでほしい。現在, わかき幼稚園には園児用の浅いプールがあるが小学校に移転した時に同じ様に夏に大きいプールに入れる様にしてほしい。移転したとしたら通園時間も長くなるが, 保育時間が短くなったりするのはやめていただきたい。
38	図書室の充実, 積極的に利用出来る様にして欲しい。自宅に借りて来られるとありがたい。
39	来年度卒園のことを考えると, 運動会の”ようこそ1年生”に参加する場合, 移転した場所ではなく園舎で行っていただけると有難い。移転が9月の場合, 練習も1か月でしなければならぬ事を考えると, 在園児の負担も減るのではないのでしょうか。もともと小学校の造りである校舎を幼稚園に変える事は全てにおいて, お金がかかることなので, もう少し目先だけでなく, 10年, 15年を考えた上でやるべき事なのではないか? すみれ学区の子供が少ないのあれば, わかきにスクールバスを出してでも統合を考え, 学区制ではなく民間であれば幼児の確保が出来れば統合を考えなくても良くなるのではないのか? そもそも保育料無償化はいつまでなのか? 私立と市立の違いは何なのか今度, 考え時代に沿った幼児教育をすれば人は集まると思う。
40	移転先の小学校は広いので子ども達が危なくないように, いろいろな面に配慮してほしい。

41	県内の幼稚園は一時小学校の教室を借り、解体、建設で1年ほどできていのになぜこんなに期間がかかるのか分かりません。すべてに時間をかけすぎだと思います。わかき幼稚園はそれほど定員割れしていないし、子育てに力を入れていると思っていたが、この計画は公立幼稚園の希望者が減るのを待っているように思っています。人数が減ってしまう見込みならわかき幼稚園に合併するつもりですぐにとりかかれたいのでしょうか。もしくはそれぞれ見合ったものをつくれませんか。今回の計画は2年前のアンケートをふまえての決定なのでしょう。小学校の跡地でなく、子供たちの安全、先生方や保護者の負担、不安も考えもっと早く計画建設をお願い致します。
42	幼稚園バスが通る道路沿いの植込みをなくしてほしい。きらく山のような手軽にピクニックできる場が増えてほしい園児数が減らないよう、つくばみらい市へ子供が増えるように、より子育てしやすい町になる事を希望します。2階の窓をあけたりしないように対策してほしい
43	小学生と幼稚園児では、異なる点について上記のような安全面に配慮してほしい。バスの乗車時間が長くなると予想されるが子どもたちに負担の少ないよう配慮してほしい。
44	小学校に移転するなら、そのまま小学校を幼稚園として使用すれば良いと思います。プールはどうなりますか？なるべく今まで通りプール遊びをさせてほしいです。体育館なども使用出来たら良いと思います。
45	わかき幼稚園は虫がたくさんいて虫とりをしたり、いもほりや野菜を育てたりと普段やらない、できない様な経験をたくさんしてもらえた。幼稚園ではたくさん遊びと遊んでほしいと考えているので、三島小に移転しても、この様な貴重な体験をする機会を減らさないでほしい。今までの様に明るくのびのびとした幼稚園でいてもらいたい。
46	花をたくさん緑豊かにころんでも痛くないよう砂利をどうにか考えてほしい。
47	2階を使用するにあたって、自由にベランダと階段を使用しないような対策を考えてほしいです。ケガにつながらないように対策を考えて欲しいです。あと、遠くなることで幼稚園での園児達との過ごす時間を減らしてほしくないです。それでバスの時間が少し早くなってしまうのは、仕方ないと思っています。逆に少し遅くなるのも仕方ないと思います。
48	わかき幼稚園の園庭の広さが子供が、のびのびと自然にふれあいながら楽しく活動できる魅力のひとつだと思っています。その良さを移転先でも引き継いでほしいです。遠くなるぶん、車でないと幼稚園まで行けない保護者が今より増える可能性が高いかと思うので、駐車スペースは確実に確保をお願いします。安全対策はあらゆる角度から想定をして、園児視点でよろしくをお願いします。防犯対策も。
49	移転期間に、応じて費用対効果を考えた変更を望みます。将来的に使用しない場合は無駄に投資する必要もない。また、今後継続的に使用するならば積極的により良い施設への改善をすべき。
50	移転先の小学校は広いので、子ども達が危なくないように過ごせるように配慮してほしい。
51	みらい平地区から三島小へ行く道路をもう少し整備してほしい。浸水等の災害を見据えた避難訓練を行うなど、園全体で災害時のことを考えてほしい。子どもを安心して預けられる施設であり、子どもたちが安心して楽しく通える場所になれば良いと一保護者として思っています。園が完成（三島小）したら、一度見学したいです。一日限定と書いてありますが、保護者希望者が必ず行けるよう工夫してほしいです。

52	三島小学校への出入口が狭いと思う。行事・保育参観などの時、混雑しそうな感じはあるが出入口の確保は何か所かできるのでしょうか。階段に園児が勝手に登り下りできない様に開閉式のちょっとした扉をつけたらどうかと思う。陽光台のルンビニー学園はその様なものがついていた気がする。
53	しっかりとした、さく対策をしてほしい。
54	三島小の現在の施設が分からないので、改修前に見学させて頂ければ意見も出しやすいと思います。改修後に1日見学させて頂けるようですが、この時に施設に対する要望が浮かんで提案したとして、再工事などの対応をして頂けるものなのでしょうか？工事開始前に広く保護者目線での意見・要望を集める為にも今、現在の施設の見学を実施して頂けると有難いです。どうぞ宜しくお願い致します。

すみれ幼稚園

55	いいと思います
56	2階, 3階の安全対策
57	とてもいいと思います。
58	保育時間の延長, 地域の方との交流, 遊びでの触れ合い(昔の遊び・お手玉メンコ・あやとり・竹トンボなど作り方を教えてもらいながら, 一緒に遊ぶ。)スポーツや芸術などの特別講師の指導
59	ベランダ等は活用すべきだが, 2階からの転落を防止する対策をお願いします。
60	小学校は広いので, 1校のみ整備し移転の間は2園を1小学校で合同保育でもいいのではないかとと思う。(三島小をわかくさ&すみれで使用するというような)
61	幼児に合わせた施設作り, 安全性, 周辺の道路などの整備。
62	子供目線の安全第一防犯を徹底してほしいです。広い為, 外部の死角がたくさんある。教室や校庭, 体育館が広く使用できる為, 有効に使用してほしい。
63	2階のベランダに出ない対策は100%安全にしてください。校庭が広いので遊んでいるうちに, 目の届かないところなどへ行ってしまふなどの心配は少しあります。小さな園児が外へ出て行ってしまふことのないようにしてほしいです。
64	使用する階段の安全対策(お友達におされる事もあるだろうし, すべったりしないか…), 園舎内から勝手に外に出ないための対策
65	民間へは移行してほしいです。公立の先生は熱心で中立な印象です。異動もあるので教育が偏らないように思います。園児数が減少し赤字になっても幼児教育は大切だと思います。現状のまま公立幼稚園を残してほしいです。入園前に私立幼稚園も見学に行きましたが公立幼稚園の雰囲気が気に入って公立に決めました。公立の良さはたくさんあると思います。公立幼稚園をどうやって減らすかではなく, どうすれば良さを知ってもらって園児を増やせるかを考えていけたらいいと思います。出入口を施錠したり, 周囲に防犯カメラを付けるなど, 不審者への対応をお願いしたいです。
66	東小の体育館に一部雨もり等, 老朽箇所があると聞きました。園児の活動・行事での運用がある施設・設備は同時に改修してほしいです。4~5年の移転ではなく, その後も継続して東小・三島小跡地を利用して園を運用してほしい。

谷和原幼稚園

67	公立は見てもらえる時間が短いので、公立にしかできない何かを実施するなど他にはない体験などがあると魅力を感じるかもしれません。例えば親とで一緒に何かするなど、畑で野菜や協力するイベントなど
68	幼稚園にも、学区制を取り入れた事で兄弟が同じ園に通えず、残念に感じている。

— 付録 —

- 付録1) つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会設置要綱
- 付録2) つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会委員名簿
- 付録3) つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会開催経過

○つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会設置要綱

令和元年 9 月 27 日
教育委員会告示第 10 号

(設置)

第 1 条 つくばみらい市における幼児教育のあり方に関し、広く意見を聴き必要な事項を検討し幼児教育の推進に資するため、つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について検討し、教育委員会に報告するものとする。

- (1) 幼児教育における公立幼稚園の役割に関すること。
- (2) つくばみらい市における幼児教育の今後のあり方に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、幼児教育のあり方に関すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 10 人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が委嘱し、又は任命する。

- (1) 市立幼稚園関係者
- (2) 私立の幼稚園、保育所又は認定こども園関係者
- (3) 学識経験者
- (4) その他、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第 4 条 委員の任期は、委嘱の日から第 2 条各号に掲げる事項の検討が完了し、教育委員会への報告が終了するまでとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事において議決をする必要がある場合にあっては、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決することによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明若しくは意見を聴き、又は必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、教育委員会学校総務課において処理する。

(その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この告示は、公布の日から施行する。

(告示の失効)

2 この告示は、つくばみらい市の幼児教育のあり方について教育委員会への報告が終了した日限り、その効力を失う。

(会議の招集に関する特例)

3 この告示の施行後最初に行われる会議の招集は、第 6 条第 1 項の規定にかかわらず、教育長が召集する。

つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会委員名簿

番号	氏名	所属等	備考
1	直井 正芳	市立幼稚園関係者 (すみれ幼稚園園長)	
2	藤森 洋子	市立幼稚園関係者 (わかくさ幼稚園保護者代表)	
3	久下 留美子	市立幼稚園関係者 (すみれ幼稚園保護者代表)	
4	野口 勝利	市立幼稚園関係者 (谷和原幼稚園保護者代表)	
5	小倉 みどり	私立幼稚園関係者 (絹ふたば文化幼稚園園長)	
6	花田 裕子	私立幼稚園関係者 (絹ふたば文化幼稚園保護者代表)	
7	川又 朋子	認定こども園関係者 (富士見ヶ丘認定こども園園長)	
8	平塚 久美子	認定こども園関係者 (富士見ヶ丘認定こども園保護者代表)	
9	石塚 眞典	学識経験者 (つくばみらい市教育委員会前教育長)	
10	石塚 武彦	学識経験者 (富士見ヶ丘小学校校長)	

つくばみらい市の幼児教育のあり方検討委員会開催経過

	開催日時	出席 委員	内容
第1回	令和元年11月7日(木) 10:00~	6名	(1) 幼稚園の現状について (2) 今後のスケジュールについて (3) その他
第2回	令和元年12月23日(月) 10:00~	9名	(1) 幼稚園に関するアンケートの集計結果 報告 (2) 公立幼稚園に求めるものについての意 見交換 (3) 今後のスケジュール
第3回	令和2年2月17日(月) 10:00~	8名	(1) 前回の振り返り (2) 私立幼稚園のアンケート結果 (3) 近隣の公立幼稚園の再整備に関する動 向
第4回	令和2年3月24日(月) 10:00~ (中止)	—	(中止理由) 新型コロナウイルス感染症対策のため